

## 続・御嶽山における火山防災の取り組み「御嶽はかせ養成講座『御嶽山を知ろう！火山を丸ごと食べてみよう！』」

### Field seminar for improvement of the volcano disaster prevention awareness in Ontake Volcano

# 岸本 博志 [1]; 鈴木 雄介 [1]; 千葉 達朗 [1]; 塩谷 みき [1]; 戸倉 高明 [2]; 岐阜県御嶽少年自然の家 加藤 正次 [3]; 木股 文昭 [4]

# Hiroshi Kishimoto[1]; Yusuke Suzuki[1]; Tatsuro Chiba[1]; Miki Shioya[1]; Takaaki Tokura[2]; Kato Syouji Gifuken Ontake Syounen Sizenno Ie[3]; Fumiaki Kimata[4]

[1] アジア航測; [2] 下呂土木; [3] -; [4] 名大・院環境・地震火山センター

[1] Asia Air Survey; [2] Gero engineering works office; [3] -; [4] Res. Center Seis. & Volcanology, Graduate school of Environ., Nagoya Univ.

<http://www.ajiko.co.jp>

御嶽山では、2006 年末に地震活動が活発化し、2007 年にはごく小規模な噴火が生じており、2008 年 3 月末には気象庁により噴火警戒レベルが導入されている。また、最近の調査や研究により、新たな噴火履歴が確認されている（及川 2007, 鈴木ほか 2007 など）。こうした背景の中で岐阜県は、地域の火山防災意識の向上を目的として、周知啓発活動のコンテンツ作成や火山防災の学習会に取り組んでいる。

周知啓発活動のコンテンツとして、噴火警戒レベルに対応した情報などを取り入れた「火山防災マップ」の改良、「火山防災ハンドブック」を作成した。また、火山防災マップの防災情報を、視覚的によりわかりやすく、火山防災教材、あるいは災害対策検討資料として活用するために、「御嶽火山立体化火山防災マップ」を作成した。

火山防災意識向上を目的とした火山防災教育として、2008 年 10 月に御嶽少年自然の家と協同で 1 泊 2 日の火山学習会「御嶽はかせ養成講座『御嶽山を知ろう！火山を丸ごと食べてみよう！』」を実施した。これは平成 19 年度に試行した火山学習会（鈴木ほか 2008）の課題をふまえてプログラムを改良したものである。参加者は 3 組 13 名（大人 7 人、子ども 6 人）であった。火山学習会では、御嶽山周辺の火山地形や柱状節理の観察を行った。また、現地観察との連携を意識しつつ、火山についての座学とキッチン火山学実習を行った。キッチン火山学実習では、「片栗粉と水で作る溶岩の柱状節理」「ココアとスポンジケーキの泥流」「ゼリー火山の噴火」「コーラの噴火」の実験を行った。

学習会の終了後にはアンケートを兼ねた認定試験を行い、参加者には今後も火山としての御嶽山に興味を持ってもらえるよう「御嶽火山はかせ」の認定証を授与した。

そのほか火山防災教育継続のための小規模勉強会として、2008 年 7 月には下呂市内の中学校理科教員や、地元中学校の生徒に対して、座学とキッチン火山学を行った。また、地域住民の手による継続的な防災教育を行っていくことを目的に、地元 NPO との連携も行っている。